

シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

初中教育ニュース（初等中等教育局メールマガジン掲載）

【第66回】

東海市放課後子どもプラン

～地域の方々とともに、子どもたちの健やかな成長を願う～

愛知県東海市立加木屋小学校 校長 加藤 千博

☆東海市放課後子どもプラン

東海市では、現在「放課後子どもプラン推進事業」として、全ての小学校において、特別教室等を活用し、文化活動やスポーツの場を提供する「子ども教室推進事業」と、適切な遊びや生活の場を提供する「放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）」の二つの事業を連携して進めています。

☆加木屋小での「子ども教室」

本校では、現在長期休業中を除く5月から3月までのほぼ毎週、平日の午後に1回、土曜の午前に1回「子ども教室」が行われています。

内容は、「リズム体操」「茶道」「将棋」「フラダンス」「短歌作り」「川柳作り」「押し花」「和太鼓」「万華鏡作り」「ハンドボール」「ゆかたの着付け」「科学実験教室」など、様々なものがあります。

内容に応じて、図工室や理科室あるいは体育館などを活用し、地域の方が講師さんとなり活発に行われています。

☆指導員さんの声、子どもたちの声

3人の指導員さんが、いつも魅力のある講座を精力的に企画してくださっています。指導員さんからは、「どの講座も子どもたちの応募が多く、参加者を絞らなくてはならないこともあり、少し辛いところです。人生経験豊富な講師の先生方との触れあいを通して様々なことを発見したり体験したりして、心豊かに成長する子どもたちの活動のお手伝いができて幸せを感じています。」と伺っています。

また、子どもたちからも、参加して「面白かった」「家でも同じものを作りたい」「大発見できた」など、充実感や次への意欲につながる声をたくさん聞いています。今後も、より充実した事業となることを願っています。

（初中教育ニュース(初等中等教育局メールマガジン)第212号に掲載）